Produced by:

第五列

5C-20　日大1981.4 ／ あんばさらんばらん
Vedda Music Workshop

ヴェッダ・ミュージック・ワークショップ、あむばさらむばらんの演奏が行われたのは、この騒然としたさなかであり、暴力的に入校を阻止されている学生と合流しながら、大学当局、反憲学連に管理されない自主的なサークル新会員募集を貫徹するための集会に連動するものだった。以後、ヴェッダをはじめ、ブルース研究会、アポリア、熱血少年旅団等のサークルは〝片隅劇場〟と名づけられたゲリラ的ギグを、検門体制下にあるキャンパス内で日常化させている。反学生管理、自主学祭等の動きは、少なくとも首都圏の大学では、昨年来かなりの広がりを獲得してきた。いずれの大学でも、単に有名なタレントを呼んでくるのではないコンサートが大きな比重を占めていたが、さらにそれを日常化する方向へと、筑波大のスティグマ、日大文理のヴェッダ等が歩み出しているのは興味深い。その音楽の内実、闘争との有機的な関係の模索には、まだまだ問題は山積している。（K）

side a：日大1981.4.15
(1) あんばさらんばらん
きの(el-b, vo), 佐野(as) with 竹田(syn), 臼井・山岸(as), 風巻(per).
(2) シュプレヒコール
(3) Vedda Music Workshop (a)
竹田(syn, vo), 鈴木(howling), 近藤(vo).

side b：日大1981.4.17
(1) Vedda Music Workshop (b)
竹田(syn), 臼井(as), 鈴木(vo, howling), 荒井(el-b).
(2) 風巻(per)ソロ
(3) Vedda Music Workshop (c)
竹田(syn), 臼井(as), 風巻(per), 鈴木(howling, vo).

(4) シュプレヒコール〜風巻(per)ソロ

Recorded by Takeo Suzuki／Edited by Geso.
Produced by the 5th Column, 1982.